

東日本大震災復興支援第3回シンポジウム
長崎から福島へ ～次の世代のために～

日時：平成23年7月16日（水）15：00～17：00

会場：新霞ヶ関ビル・灘尾ホール

主催：長崎・ヒバクシャ医療国際協力会（NASHIM）

（司会）

それでは時間になりましたので、ただいまより「東日本大震災復興支援第3回シンポジウム 長崎から福島へ～次の世代のために～」を開会いたします。

私は本日の司会を務めます長崎大学大学院医歯薬学総合研究科の高村でございます。どうぞ、よろしくをお願いいたします。

それでは、はじめに主催者であります長崎・ヒバクシャ医療国際協力会会長、蒔本恭長崎県医師会長がご挨拶をいたします。

蒔本先生、よろしくをお願いいたします。

（蒔本会長）

長崎・ヒバクシャ医療国際協力会の蒔本でございます。

本日は大変お忙しい中、多数お集まりいただきまして、まことにありがとうございます。主催者を代表いたしまして、御礼を申し上げます。

さて、長崎・ヒバクシャ医療国際協力会、NASHIMは、この度の福島原発事故による風評被害を払拭する一助になればとの思いで、放射線に対する正しい知識を知っていただくため、長崎県、長崎市の支援を受けて、東京においてシンポジウムを行ってまいりました。

今回は、現在、福島で放射線に不安を抱えておられる地域住民の医療に携わっておられます福島県立医科大学救命救急センターの長谷川医師、同じく同大学の放射線科の宮崎医師にご協力をいただきまして、また、福島への医療派遣に従事された長崎大学病院の大津留医師と一緒に「次の世代のために」をテーマに講演を行います。先生方の現地での貴重な経験に基づいたお話がいただけることとご期待しており、有意義なご講演となるものと確信いたしております。

最後になりますが、NASHIMは、長崎において長年培ってきました被爆者医療の経験や研究結果を基に、チェルノブイリなど原発事故による被害を受けた海外の医師の研修を行うなど、国際協力、国際貢献に努めております。その経験と知識を活かし、シンポジウムを行ってまいりましたが、本日で最後の開催となります。この取り組みが福島をはじめ、被災地の一日も早い復興の力となることを切に願ひまして、ご挨拶といたします。

平成23年7月16日。長崎・ヒバクシャ医療国際協力会会長 蒔本恭。

どうぞ、よろしくをお願いいたします。

（司会）

蒔本先生、ありがとうございました。